※令和４年度以降入学生用

学校番号	217

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「最新　数学Ⅱ」　（数研出版）						
副教材等	パラレルノート数学Ⅱ　（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

数学Ⅱでは，１年次での数学Ⅰで学んだ内容の延長である単元が多く，復習と演習が大切になります。家庭学習（宿題等の課題）の時間を確保してしっかりと復習をしましょう。宿題や課題は定期的に提出することになるので，最後までしっかりと取り組んでください。

授業では，課題に対して、答えが書かれるのを待つのではなく自ら考え，また周りの人と協働で考える活動をしましょう。

問題集（パラレルノート）については，まずは自分で解き，ただ答えを求めるだけでなく，途中式や考え方も書くようにしましょう。また，各自で答え合わせをしてから提出してください。答え合わせをすることで，自分がどこでつまずいているかを知れます。

何事も知ることが自分を変えることにつながります。数学Ⅱは数学をより深く学ぶ科目になるので，更に意欲的に学習し，面白さや楽しさを感じられることを目指しましょう。

２　学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)　いろいろな式，図形と方程式及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

(2)　座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し，方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり，図形の性質を論理的に考察したりする力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力，関数の局所的な変化に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。

(3)　数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

※令和４年度以降入学生用

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	いろいろな式，図形と方程式及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し，方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり，図形の性質を論理的に考察したりすることができる。関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察することができる。関数の局所的な変化に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりすることができる。	いろいろな式，図形と方程式，及び微分・積分を通して数学のよさを認識し数学を活用しようとしている。粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。
上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。			

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章　複素数と方程式	第1節　式の計算 1　式の展開と因数分解 2　二項定理 3　分数式の計算	a: 三次の乗法公式及び因数分解の公式を理解し，それらを用いて式の展開や因数分解ができる。多項式の除法や分数式の四則計算の方法について理解し，簡単な場合について計算できる。 b: 式の計算の方法を既に学習した数や式の計算と関連付け多面的に考察できる。 c: 解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト レポート	レポート 提出ノート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

		第2節　複素数と方程式 1　複素数 2　2次方程式の解と判別式 3　解と係数関係 4　多項式のわり算 5　因数定理 6　高次方程式	a：数を複素数まで拡張する意義を理解し，複素数の四則計算ができる。二次方程式の解の種類の判別及び解と係数の関係について理解できている。因数定理について理解し，簡単な高次方程式について因数定理などを用いてその解を求めることができる。 b：式の計算の方法や２次方程式の解について，既に学習した内容と関連付け多面的に考察することができる。 c：日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，方程式を問題解決に活用しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト レポート	レポート 提出ノート 振り返りシート
2学期	第2章　図形と方程式	第1節　点と直線 1　直線上の点 2　平面上の点 3　直線の方程式 4　2直線の関係	a：座標を用いて，平面上の線分を内分する点，外分する点の位置や二点間の距離を表すことができる。 b：直線について構成要素間の関係に着目し，それを方程式を用いて表現し，直線の 性質や位置関係について考察することができる。 c：コンピュータなどの情報機器を用いて問題解決に活用しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト レポート	レポート 提出ノート 振り返りシート
		第2節　円 1　円の方程式 2　円と直線	a:座標平面上の円を方程式で表すことができる。 b：円と直線について構成要素間の関係に着目し，それらを方程式を用いて表現し，図形の性質や位置関係について考察することができる。 c：コンピュータなどの情報機器を用いて問題解決に活用しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト レポート	レポート 提出ノート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	第5章 微分法と積分法	第1節 微分法 1 微分係数 2 導関数 3 接線 4 関数の増減 5 関数の極大値･極小値 6 関数の最大値･最小値	a: 微分係数や導関数の意味について理解し，関数の定数倍，和及び差の導関数を求めることができる。導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ，グラフの概形をかく方法を理解することができる。 b: 関数とその導関数との関係について考察することができる。 c: 関数の局所的な変化に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，問題解決に活用しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト レポート	レポート 提出ノート 振り返りシート
3学期	第5章 微分法と積分法	第2節 積分法 1 不定積分 2 定積分 3 定積分と面積	a: 不定積分及び定積分の意味について理解し，関数の定数倍，和及び差の不定積分や定積分の値を求めることができる。 b: 微分と積分の関係に着目し，積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察することができる。 c: 解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 確認テスト レポート	レポート 提出ノート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度